

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル
2. 事業名	モンゴルにおける地方中学校教員の質の向上－ICT を活用した地域に根差した STEM 研修教材開発を通じて
3. 事業の背景と必要性	モンゴルの基礎教育分野における近年の特徴として、1) 教育の12年制度導入による教員の役割の増大；2) 都市と地方の格差の拡大；3) 2016年に施行された『コアカリキュラム』における地方の現状に則した学習指導案の奨励；4) 教育基本計画に明記されたICT活用の重要性；5) 国際開発プロジェクトによる地方の学校への機材が導入、などがあげられる。しかし、教員研修用教材の不足に加え、教員研修が地方政府の責任となったことから研修の機会は減少しているのが現状である
4. プロジェクト目標	現地のニーズに合ったデジタル教員研修教材を開発し活用することで、地方中学校教員の授業における教授能力が向上する
5. 対象地域	モンゴル国全土（特に、地方（4 県、ウランバートル（UB）市のゲル地区も含む））
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	直接裨益者：モンゴル国立教育大学の中学校教科担当教授25人、メソドロジスト124人、地方中学校教員2,320人、間接裨益者：モンゴル国全中学校教員
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高品質の教員用デジタル研修教材制作を支援するための教員養成機関（モンゴル国立教育大学）の体制が強化される 2. モンゴル21県とUB市9地区の中学校担当メソドロジストがデジタル教材開発の知識と技術を身につける 3. 地方中学校教員が、現地のニーズを反映したローカルコンテンツを含むSTEM教科中心の教員研修教材を開発し、活用できる 4. 地方中学校教員が、現地の教員研修教材を活用し、子ども中心の指導法を積極的に取り入れ、生徒を教授できる 5. 10校のモデル校にて、子ども中心の教授法を取り入れた授業用教材が開発され、近隣の学校へ広く普及されることで、地方中学校教員の教授の質が向上する <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門家チームの強化：1) デジタル研修教材の作成をサポートするための専門家チームを結成し、強化する、2) 日本の教員研修機関へのスタディーツアーを実施する、3) 地方の教員研修教材開発チームへの専門的支援を提供する 2. 研修教材開発のための研修：1) 地方教員研修専門家のための研修プログラムを開発する；2) 地方教員研修専門家のためのデジタル研修教材開発の研修を実施する；3) 地方21県とUB市にて地方レベルの教員研修を実施する（カスケードモデル） 3. 教材開発：1) 地方4県とUB市1ゲル地区にて各6教科（全30種類）のデジタル教員研修教材を試作する；2) 教員研修にて教材を試行し、改良する；3) 最終版を制作する；4) その他の副教材を開発する；5) 教材を普及する方策を計画、実施する 4. 教員研修：1) カスケードモデルを活用した研修プログラムを開発する；2) 作成されたデジタル教材を使用して研修を実施する；3) 学内研修のモニタリングを行なう；4) 教員研修用プラットフォームを構築する；5) 開発したデジタル教材を教員用ポータルに掲載する 5. モデル校での教材開発：1) モデル校を選定する；2) モデル校教員代表の研修を実施する（日本研修含む）；3) 専門家チームがモデル校へ継続的に支援する；4) 授業用教材とマニュアルを開発する；5) 近隣の学校に授業用教材と指導法を普及させる
8. 実施期間	2018年8月～2023年5月（4年9ヵ月）
9. 事業費概算額	100,000千円
10. 事業の実施体制	日本側機関：東京工業大学（プロジェクトマネージャー、アドバイザー、プロジェクトチーム） モンゴル側機関：モンゴル国立教育大学、モンゴル教育文化科学スポーツ省、地方政府教育文化局、地方中学校
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人東京工業大学
2. 活動内容	世界を舞台に科学技術の分野で活躍できる人材の輩出と地球規模の課題を解決する研究成果によって社会に寄与し、長期目標である「世界最高の理工系総合大学」の実現を目指している